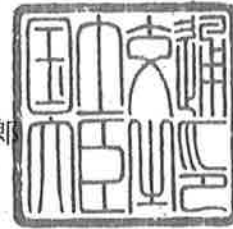


# 認定書

国住指第 3580 号  
平成 24 年 12 月 21 日

旭化成建材株式会社  
代表取締役社長 前田 富弘 様

国土交通大臣 羽田 雄一郎



下記の構造方法等については、建築基準法第 68 条の 26 第 1 項（同法第 88 条第 1 項において準用する場合を含む。）の規定に基づき、同法第 2 条第七号の二及び同法施行令第 107 条の 2 第一号から第三号まで（外壁（耐力壁）：各 45 分間）の規定に適合するものであることを認める。

## 記

- 認定番号  
QF045BE-1206
- 認定をした構造方法等の名称  
人造鉱物繊維断熱材充填／樹脂塗装窯業系サイディング・フェノールフォーム保温板・火山性ガラス質複層板表張／せっこうボード裏張／木製枠組造外壁
- 認定をした構造方法等の内容  
別添の通り

（注意）この認定書は、大切に保存しておいてください。

(別添)

1. 構造名

人造鉱物繊維断熱材充てん/樹脂塗装窯業系サイディング・フェノールフォーム保温板・  
火山性ガラス質複層板表張/せっこうボード裏張/木製枠組造外壁

2. 寸法および形状等

(寸法単位：mm)

項目	申請構造
壁高	構造計算等により構造安全性が確かめられた寸法とする
壁厚	178 以上

3. 材料構成

1) 主構成材料

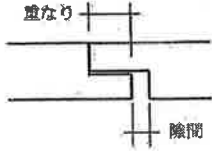
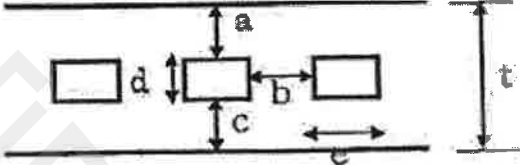
(寸法単位：mm)

項目	申請構造
① 荷重支持部 材(たて枠)	<ul style="list-style-type: none"><li>・材質 木</li><li>・規格 平成 13 年国土交通省告示第 1540 号に適合する壁のたて枠材</li><li>・断面寸法 38×89 の断面寸法以上</li><li>・比重 <math>0.50_{\pm 0.08} \text{g/cm}^3</math> 以上</li><li>・間隔 500 以下</li></ul>
② 上枠・下枠	<ul style="list-style-type: none"><li>・材質 木</li><li>・規格 平成 13 年国土交通省告示第 1540 号に適合する壁の上枠及び下枠材</li><li>・断面寸法 38×89 の断面寸法以上</li><li>・比重 <math>0.50_{\pm 0.08} \text{g/cm}^3</math> 以上</li></ul>
③ 胴縁	<ul style="list-style-type: none"><li>・材質 木</li><li>・規格 (1)～(8)のうち、いずれか一仕様とする<ul style="list-style-type: none"><li>(1) 製材</li><li>(2) 日本農林規格に適合する針葉樹の構造用製材、造作用製材又は下地用製材</li><li>(3) 日本農林規格に適合する針葉樹の構造用集成材</li><li>(4) 日本農林規格に適合する構造用単板積層材又は造作用単板積層材</li><li>(5) 日本農林規格に適合する枠組壁工法構造用製材又は構造用たて継ぎ材</li><li>(6) 平成 12 年建設省告示第 1452 号第六に規定する無等級材又は第七に規定する木材</li><li>(7) 日本農林規格に適合する構造用合板又は普通合板<ul style="list-style-type: none"><li>・断面寸法 一般部 18×45 以上</li><li>外装材目地部 18×90 以上又は 18×45 以上 2 列</li></ul></li><li>・間隔 500 以下</li></ul></li><li>(8) きずり(格子状パネル)<ul style="list-style-type: none"><li>・厚さ 18 以上</li></ul></li></ul>

(別添-1)

項 目	申 請 構 造																																		
<b>4</b> 外装材	<p>[1] 基材</p> <p>窯業系サイディング</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・規格 (1)、(2)のうち、いずれか一仕様とする             <ul style="list-style-type: none"> <li>(1) JIS A 5422</li> <li>(2) 規格なし (14mm 未満)</li> </ul> </li> <li>・組成 (質量%)             <table border="0" style="margin-left: 20px;"> <tr> <td style="font-size: 2em;">{</td> <td>けい酸カルシウム硬化物</td> <td style="text-align: right;">65～86</td> </tr> <tr> <td></td> <td>有機質繊維</td> <td style="text-align: right;">1～13</td> </tr> <tr> <td></td> <td>無機質繊維</td> <td style="text-align: right;">0～4</td> </tr> <tr> <td></td> <td>有機質混和材</td> <td style="text-align: right;">14 未満</td> </tr> <tr> <td></td> <td>無機質混和材</td> <td style="text-align: right;">27 未満</td> </tr> </table> </li> </ul> <p>但し、・繊維質原料</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>有機質繊維：セルロース繊維、ポリビニルアルコール繊維、ポリプロピレン繊維等</li> <li>無機質繊維：ガラス繊維、ロックウール繊維等 (石綿は使用してはならない)</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・混和材             <ul style="list-style-type: none"> <li>有機質：リグニン、メチルセルロース、撥水剤等</li> <li>無機質：パーライト、炭酸カルシウム、マイカ等</li> </ul> </li> </ul> <p>[2] 表面塗装</p> <p>(1)～(7)のうち、いずれか一仕様とする</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) アクリルウレタン系樹脂</li> <li>(2) アクリル系樹脂</li> <li>(3) アクリルシリコーン系樹脂</li> <li>(4) ふっ素系樹脂</li> <li>(5) 無機質系樹脂</li> <li>(6) ポリキロキサン系樹脂</li> <li>(7) エポキシ系樹脂</li> </ol> <ul style="list-style-type: none"> <li>・塗布量 200g/m<sup>2</sup> (有機固形分) 以下</li> </ul> <p>[3] 密度 (絶乾) 1.1<sub>±0.2</sub>kg/m<sup>3</sup></p> <p>[4] 形状</p> <p>[4]-1 外形寸法</p> <table border="1" style="margin-left: 40px;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">厚さ</th> <th colspan="2">幅</th> <th colspan="2">長さ</th> </tr> <tr> <th>最小</th> <th>最大</th> <th>最小</th> <th>最大</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>12～14</td> <td>400</td> <td>1210</td> <td>1820</td> <td>3640</td> </tr> <tr> <td>15～26</td> <td>303</td> <td>910</td> <td>1500</td> <td>3640</td> </tr> </tbody> </table> <p>※ 但し、重張の場合は 160 以上</p>	{	けい酸カルシウム硬化物	65～86		有機質繊維	1～13		無機質繊維	0～4		有機質混和材	14 未満		無機質混和材	27 未満	厚さ	幅		長さ		最小	最大	最小	最大	12～14	400	1210	1820	3640	15～26	303	910	1500	3640
{	けい酸カルシウム硬化物	65～86																																	
	有機質繊維	1～13																																	
	無機質繊維	0～4																																	
	有機質混和材	14 未満																																	
	無機質混和材	27 未満																																	
厚さ	幅		長さ																																
	最小	最大	最小	最大																															
12～14	400	1210	1820	3640																															
15～26	303	910	1500	3640																															

(寸法単位：mm)

項 目	申 請 構 造																															
[4] 外装材 (つづき)	<p>[4]-2 端部形状 サイディング相互の重なりと隙間</p> <table border="1" data-bbox="491 338 991 461"> <thead> <tr> <th>厚さ</th> <th>重なり</th> <th>隙間</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>12~14</td> <td>6 以上</td> <td>3 以下</td> </tr> <tr> <td>15~26</td> <td>9 以上</td> <td>3 以下</td> </tr> </tbody> </table>  <p>[4]-3 断面形状</p> <table border="1" data-bbox="453 539 1335 972"> <thead> <tr> <th>厚さ</th> <th>模様深さ</th> <th>容積欠損率 (%)</th> <th>※中空率 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>12~14</td> <td>最小厚さ 8 以上確 保</td> <td>8 以下 (但し、板厚 12 を超える場合 は裏面から 12 以 下の模様による 欠損率とする)</td> <td>0 (中実)</td> </tr> <tr> <td>15~26 (中空 品 18 以 上)</td> <td>最小厚さ 11 以上確 保</td> <td>11 以下 (但し、板 厚 15 を超える場 合は裏面から 15 以下の模様によ る欠損率とする)</td> <td>37 以下 (但し、板厚 18 を 超える場合は厚さを増 した分だけ、d の長さ を増し中空率を上げるこ とができる)</td> </tr> </tbody> </table> <p>※中空の形状</p>  <table border="1" data-bbox="453 1205 1209 1285"> <thead> <tr> <th>厚さ t</th> <th>a</th> <th>b</th> <th>c</th> <th>d</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>15 以上</td> <td>3 以上</td> <td>3 以上</td> <td>3 以上</td> <td>9 以下</td> </tr> </tbody> </table> <p>但し、15 を超える場合、厚さを増した分だけ、d の長さを増すことができる</p> <p>[5] 張方 (1)~(3) のうち、いずれか一仕様とする (1) 横張 (2) 縦張 (3) 重ね張</p>	厚さ	重なり	隙間	12~14	6 以上	3 以下	15~26	9 以上	3 以下	厚さ	模様深さ	容積欠損率 (%)	※中空率 (%)	12~14	最小厚さ 8 以上確 保	8 以下 (但し、板厚 12 を超える場合 は裏面から 12 以 下の模様による 欠損率とする)	0 (中実)	15~26 (中空 品 18 以 上)	最小厚さ 11 以上確 保	11 以下 (但し、板 厚 15 を超える場 合は裏面から 15 以下の模様によ る欠損率とする)	37 以下 (但し、板厚 18 を 超える場合は厚さを増 した分だけ、d の長さ を増し中空率を上げるこ とができる)	厚さ t	a	b	c	d	15 以上	3 以上	3 以上	3 以上	9 以下
厚さ	重なり	隙間																														
12~14	6 以上	3 以下																														
15~26	9 以上	3 以下																														
厚さ	模様深さ	容積欠損率 (%)	※中空率 (%)																													
12~14	最小厚さ 8 以上確 保	8 以下 (但し、板厚 12 を超える場合 は裏面から 12 以 下の模様による 欠損率とする)	0 (中実)																													
15~26 (中空 品 18 以 上)	最小厚さ 11 以上確 保	11 以下 (但し、板 厚 15 を超える場 合は裏面から 15 以下の模様によ る欠損率とする)	37 以下 (但し、板厚 18 を 超える場合は厚さを増 した分だけ、d の長さ を増し中空率を上げるこ とができる)																													
厚さ t	a	b	c	d																												
15 以上	3 以上	3 以上	3 以上	9 以下																												
[5] 外張断熱材	<p>フェノールフォーム保温板</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>規格 JIS A 9511</li> <li>形状 平板</li> <li>厚さ <math>35_{\pm 4} \sim 70_{\pm 7}</math></li> <li>密度 <math>27_{\pm 3} \sim 45_{\pm 5} \text{ kg/m}^3</math></li> <li>酸素指数 28 以上 (芯材)</li> </ul> <p>[1] 芯材 フェノール樹脂発泡体</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>組成 (質量%)           <table border="1" data-bbox="405 1906 938 1989"> <tr> <td>フェノール樹脂 (レゾール樹脂)</td> <td>100</td> </tr> <tr> <td>発泡剤 (炭化水素)</td> <td>2~6 (外割)</td> </tr> </table> </li> </ul>	フェノール樹脂 (レゾール樹脂)	100	発泡剤 (炭化水素)	2~6 (外割)																											
フェノール樹脂 (レゾール樹脂)	100																															
発泡剤 (炭化水素)	2~6 (外割)																															

(別添-3)

(寸法単位：mm)

項 目	申 請 構 造
[5] 外張断熱材 (つづき)	[2] 面材 (JIS A 9511) (1)～(5)のうち、いずれか一仕様とする (1) ポリエステル不織布 ・ 使用量 20～60g/m <sup>2</sup> (2) ポリプロピレン不織布 ・ 使用量 20～40g/m <sup>2</sup> (3) ポリエチレン加工紙 ・ 規格 JIS Z 1514 ・ 使用量 20～40g/m <sup>2</sup> (4) はり合わせアルミニウムはく ・ 規格 JIS Z 1520 (5) 不燃性の加工紙 (けい酸マグネシウム紙、ガラス繊維紙、アルミニウムはく・ガラス繊維複合紙)
[6] 断熱材	人造鉱物繊維断熱材 1)、2)のうち、いずれか一仕様とする 1) グラスウール 2) ロックウール ・ 規格 1)～ハ)のうち、いずれか一仕様とする イ) JIS A 9504 人造鉱物繊維保温材 ロ) JIS A 9521 住宅用人工造鉱物繊維保温材 ハ) JIS A 9523 吹込み用繊維質断熱材 ・ 厚さ 10 以上 ・ 密度 10kg/m <sup>3</sup> 以上
[7] 構造用面材	火山性ガラス質複層板 ・ 規格 JIS A 5440 ・ 厚さ 9 以上
[8] 内装材	(1)、(2)のうち、いずれか一仕様とする (1) せっこうボード ・ 規格 JIS A 6901 ・ 厚さ 15 以上 (2) 強化せっこうボード ・ 規格 JIS A 6901 ・ 厚さ 15 以上 ・ 端部形状 1)～3)のうち、いずれか一仕様とする 1) スクエア 2) ベベル 3) テーパー
[9] つなぎ材	(構造用面材及び内装材用) ・ 材 質 木 ・ 断面寸法 38×89 の断面寸法以上 ・ 比 重 0.50 <sub>±0.08</sub> g/cm <sup>3</sup> 以上

## 2) 副構成材料

(寸法単位：mm)

項 目	申 請 構 造
①留付け材	<p>外装材の留付け材は [1] 又は [2], [3] の組み合わせのうち、いずれか一仕様とする</p> <p>[1] 外装材留付け材 (くぎ留め)</p> <p>(1) ~ (3) のうち、いずれか一仕様とする</p> <p>(1) スクリューくぎ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・寸法 <math>\phi 2.3 \times L38</math> 以上</li> </ul> <p>(2) リングくぎ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・寸法 <math>\phi 2.3 \times L38</math> 以上</li> </ul> <p>(3) タッピンねじ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・寸法 <math>\phi 3.0 \times L38</math> 以上</li> <li>・間隔 水平方向 500 以下、鉛直方向 220 以下</li> </ul> <p>[2] 外装材留金具</p> <p>(1) ~ (3) のうち、いずれか一仕様とする</p> <p>(1) 冷間圧延ステンレス鋼板</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・規格 JIS G 4305</li> </ul> <p>(2) 溶融亜鉛めっき鋼板</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・規格 JIS G 3302</li> </ul> <p>(3) 電気亜鉛めっき鋼板</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・規格 JIS G 3313</li> <li>・寸法 幅 40 以上</li> <li>高さ 40 以上</li> <li>幅+高さ 上記の幅と高さの合計 90 以上</li> <li>厚さ 鋼板の厚さ 0.8 以上</li> <li>上部ツメの幅 15.8 以上</li> <li>下部ツメの幅 14.0 以上</li> <li>上部ツメの掛かり高さ 4.0 以上</li> <li>下部ツメの掛かり高さ 4.2 以上</li> <li>上部と下部のツメの総掛かり面積 <math>175\text{mm}^2</math> 以上 <math>[(a \times c) + (b \times d)]</math></li> <li>・間隔 水平方向 500 以下</li> <li>・形状 別添-14 参照</li> </ul> <p>[3] 外装材留金具留付け材</p> <p>(1) ~ (3) のうち、いずれか一仕様とする</p> <p>(1) スクリューくぎ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・寸法 <math>\phi 2.3 \times L38</math> 以上</li> </ul> <p>(2) リングくぎ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・寸法 <math>\phi 2.3 \times L38</math> 以上</li> </ul> <p>(3) タッピンねじ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・寸法 <math>\phi 3.0 \times L38</math> 以上</li> <li>・間隔 水平方向 500 以下</li> </ul> <p>[4] 胴縁留付け材</p> <p>タッピンねじ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・材質 炭素鋼線</li> <li>・寸法 呼び径 <math>\phi 6.0</math> 以上 <math>\times L100</math> 以上</li> <li>・間隔 500 以下</li> </ul>

(別添-5)

項 目	申 請 構 造
①留付け材 (つづき)	<p>[5] 構造用面材留付け材</p> <p>(1)、(2)のうち、いずれか一仕様とする</p> <p>(1) くぎ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・材質 1)～3)のうち、いずれか一仕様とする</li> <li>1) 太め鉄丸くぎ <ul style="list-style-type: none"> <li>・規格 JIS A 4309</li> <li>・寸法 CN50 以上</li> </ul> </li> <li>2) めっき太め鉄丸くぎ <ul style="list-style-type: none"> <li>・規格 JIS A 5508</li> <li>・寸法 CNZ50 以上</li> </ul> </li> <li>3) シーリングボード用くぎ <ul style="list-style-type: none"> <li>・規格 JIS A 5508</li> <li>・寸法 SN50 以上</li> </ul> </li> </ul> <p>・間隔 周辺部 100 以下、中間部 200 以下</p> <p>(2) ねじ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・材質 1)～4)のうち、いずれか一仕様とする</li> <li>1) 冷間圧造用ステンレス鋼線 <ul style="list-style-type: none"> <li>・規格 JIS G 4315</li> </ul> </li> <li>2) 軟鋼線材 <ul style="list-style-type: none"> <li>・規格 JIS G 3505</li> </ul> </li> <li>3) 冷間圧造用炭素鋼線 <ul style="list-style-type: none"> <li>・規格 JIS G 3507-2</li> </ul> </li> <li>4) 機械構造用炭素鋼鋼材 <ul style="list-style-type: none"> <li>・規格 JIS G 4051</li> </ul> </li> </ul> <p>・寸法 <math>\phi 3.0</math> 以上×L40 以上</p> <p>・間隔 周辺部 100 以下、中間部 200 以下</p> <p>[6] 内装材留付け材</p> <p>ねじ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・材質 1)～4)のうち、いずれか一仕様とする</li> <li>1) 冷間圧造用ステンレス鋼線 <ul style="list-style-type: none"> <li>・規格 JIS G 4315</li> </ul> </li> <li>2) 軟鋼線材 <ul style="list-style-type: none"> <li>・規格 JIS G 3505</li> </ul> </li> <li>3) 冷間圧造用炭素鋼線 <ul style="list-style-type: none"> <li>・規格 JIS G 3507-1, 3507-2</li> </ul> </li> <li>4) 機械構造用炭素鋼鋼材 <ul style="list-style-type: none"> <li>・規格 JIS G 4051</li> </ul> </li> </ul> <p>・寸法 呼び径<math>\phi 3.8</math>×L32 以上</p> <p>・間隔 周辺部 100 以下、中間部 200 以下</p> <p>[7] 防水紙留付け材(アスファルトルーフィングフェルト固定用)</p> <p>ステーブル</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・材質 1)、2)のうち、いずれか一仕様とする</li> <li>1) ステンレス鋼線 <ul style="list-style-type: none"> <li>・規格 JIS G 4309</li> </ul> </li> </ul>

項 目	申 請 構 造
①留付け材 (つづき)	<p>2) 鉄線</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・規格 JIS G 3532</li> <li>・寸法 幅 10 以上 足長 6 以上</li> <li>・間隔 鉛直方向 500 以下、水平方向 500 以下</li> </ul> <p>[8] 防水紙留付け材 (透湿防水シート固定用) 上記 [7] ステープレの他 (1)、(2) のうち、いずれか一仕様とする</p> <p>(1) スプレー糊</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・材質 合成ゴム系樹脂</li> <li>・塗布量 <math>10_{\pm 0.1} \text{g/m}^2</math></li> <li>・塗布位置 防水紙全面</li> </ul> <p>(2) 両面粘着テープ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・材質 1)～3) のうち、いずれか一仕様とする <ul style="list-style-type: none"> <li>1) アクリル系樹脂</li> <li>2) シリコン系樹脂</li> <li>3) ゴム系樹脂</li> </ul> </li> <li>・厚さ 0.2 以下</li> <li>・取付箇所 防水紙四隅</li> </ul> <p>[9] 断熱材留付け材 ステープレ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・材質 1)、2) のうち、いずれか一仕様とする <ul style="list-style-type: none"> <li>1) ステンレス鋼線 <ul style="list-style-type: none"> <li>・規格 JIS G 4309</li> </ul> </li> <li>2) 鉄線 <ul style="list-style-type: none"> <li>・規格 JIS G 3532</li> </ul> </li> </ul> </li> <li>・寸法 幅 10 以上 足長 6 以上</li> <li>・間隔 鉛直方向 500 以下、水平方向 500 以下</li> </ul> <p>[10] 防湿材留付け材 ステープレ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・材質 1)、2) のうち、いずれか一仕様とする <ul style="list-style-type: none"> <li>1) ステンレス鋼線 <ul style="list-style-type: none"> <li>・規格 JIS G 4309</li> </ul> </li> <li>2) 鉄線 <ul style="list-style-type: none"> <li>・規格 JIS G 3532</li> </ul> </li> </ul> </li> <li>・寸法 幅 10 以上 足長 6 以上</li> <li>・間隔 鉛直方向 500 以下、水平方向 500 以下</li> </ul>



(寸法単位：mm)

項 目	申 請 構 造
②防水紙	(1)～(3)のうち、いずれか一仕様とする (1) 透湿防水シート 1)～3)のうち、いずれか一仕様とする 1) ポリエチレン 2) ポリエステル 3) ポリプロピレン ・規格 JIS A 6111 ・質量 85g/m <sup>2</sup> 以下 (2) アスファルトルーフィングフェルト 430 ・規格 JIS A 6005 ・質量 430g/m <sup>2</sup> 以下 (3) なし
③防湿材	(1)、(2)のうち、いずれか一仕様とする (1) 防湿気密フィルム ・厚さ 0.2 以下 ・種類 1)～3)のうち、いずれか一仕様とする 1) 住宅用プラスチック系防湿フィルム ・規格 JIS A 6930 2) 包装用ポリエチレンフィルム ・規格 JIS Z 1702 3) 農業用ポリエチレンフィルム ・規格 JIS K 6781 (2) なし
④気密テープ (断熱材用)	(1)～(3)のうち、いずれか一仕様とする (1) ブチルゴム系テープ ・粘着材：ブチルゴム系樹脂 36g/m 以下 (2) アクリル系テープ ・粘着剤：アクリル系樹脂 11.5g/m 以下 (3) なし

(寸法単位：mm)

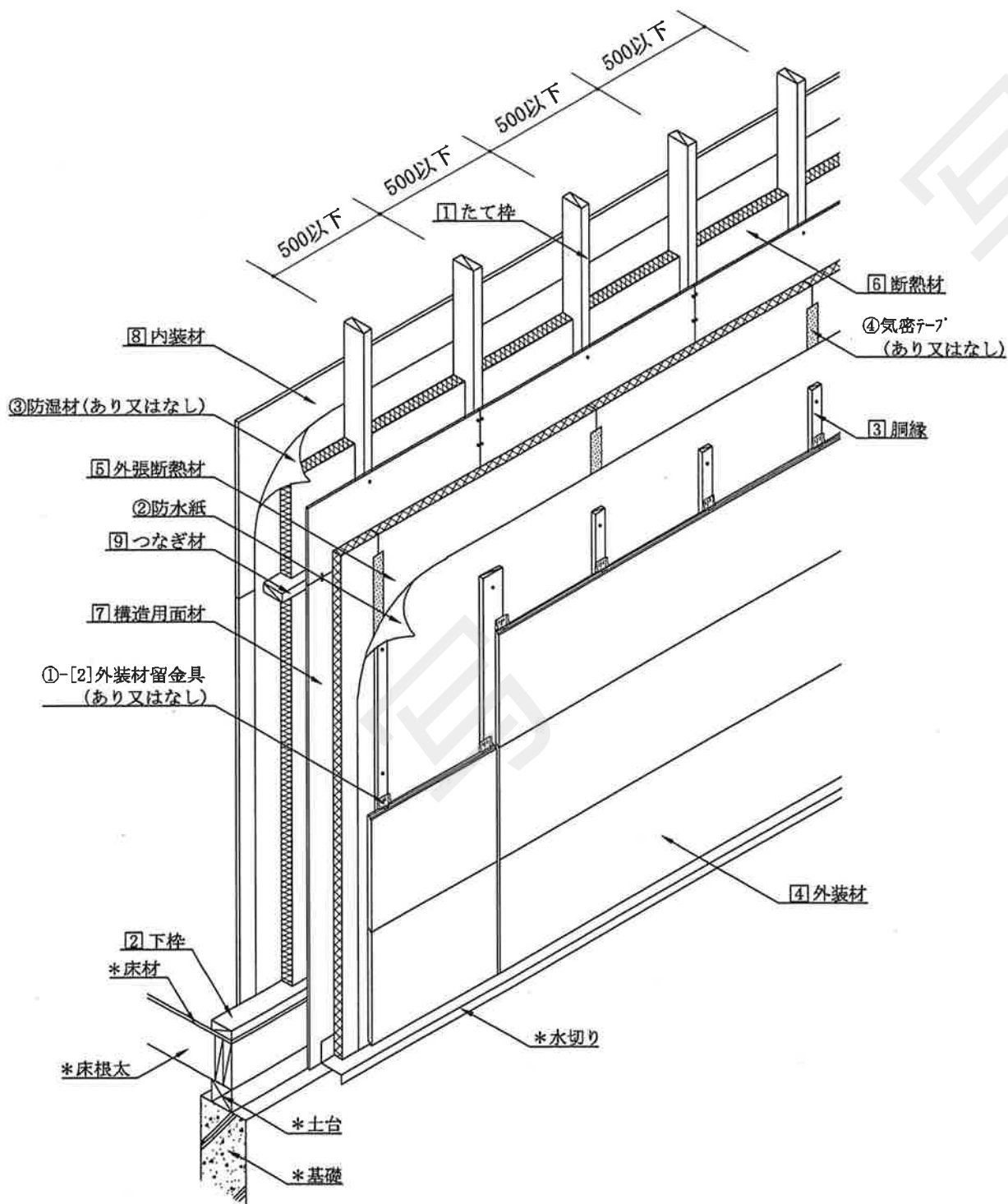
項 目	申 請 構 造
⑤外装用目地部材	<p>(1) と (2) の組み合わせ又は (3) のうち、いずれか一仕様とする</p> <p>(1) シーリング材</p> <p>1) ～7) のうち、いずれか一仕様とする</p> <ol style="list-style-type: none"><li>1) ポリウレタン系樹脂</li><li>2) 変成ウレタン系樹脂</li><li>3) ポリサルファイド系樹脂</li><li>4) 変成ポリサルファイド系樹脂</li><li>5) シリコン系樹脂</li><li>6) 変成シリコン系樹脂</li><li>7) アクリルウレタン系樹脂</li></ol> <p>・規格 JIS A 5758</p> <p>・使用量 56g/m 以上</p> <p>(2) ハット型ジョイナー</p> <p>1) ～9) のうち、いずれか一仕様とする</p> <ol style="list-style-type: none"><li>1) 亜鉛めっき鋼板 ・規格 JIS G 3302</li><li>2) 塗装亜鉛めっき鋼板 ・規格 JIS G 3312</li><li>3) 熔融亜鉛-5%アルミニウム合金めっき鋼板 ・規格 JIS G 3317</li><li>4) 塗装熔融亜鉛-5%アルミニウム合金めっき鋼板 ・規格 JIS G 3318</li><li>5) 熔融 55%アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板 ・規格 JIS G 3321</li><li>6) 塗装熔融 55%アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板 ・規格 JIS G 3322</li><li>7) ポリ塩化ビニル被覆金属板 ・規格 JIS K 6744</li><li>8) 熱間圧延ステンレス鋼板 ・規格 JIS G 4304</li><li>9) 冷間圧延ステンレス鋼板 ・規格 JIS G 4305</li></ol> <p>・厚さ 0.25 以上</p> <p>・幅 40 以上</p> <p>(3) なし</p> <p>本実・合いじゃくり目地・突きつけ目地の場合</p>
⑥内装材用目地処理材	<p>(1) 又は (1) と (2) の組み合わせのうち、いずれか一仕様とする</p> <p>(1) せっこうボード用目地処理材 (兼用ジョイントコンパウンド)</p> <p>・使用量 100g/m 以上</p> <p>(2) ジョイントテープ</p> <p>・材質 ガラスファイバーテープ</p> <p>・寸法 幅 50、厚さ 0.15～0.2</p>

(別添-9)

4. 構造説明図

(寸法単位：mm)

透視図



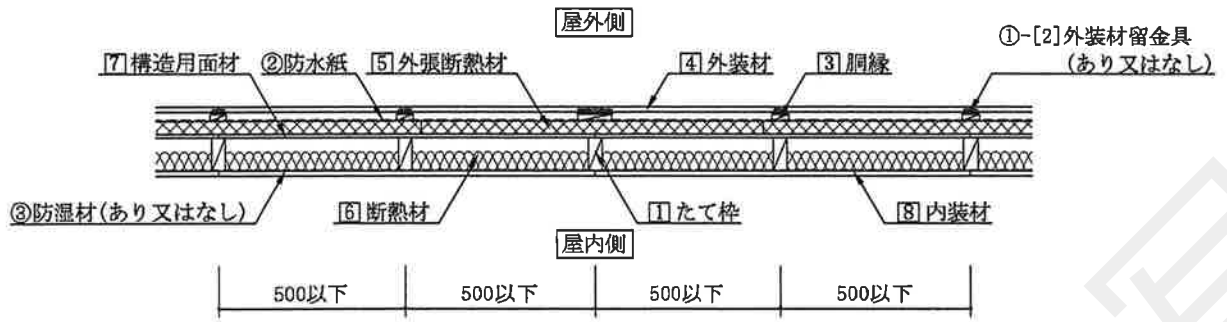
注) 寸法および材料構成は2および3のとおり

\* : 本評価内容に含まない

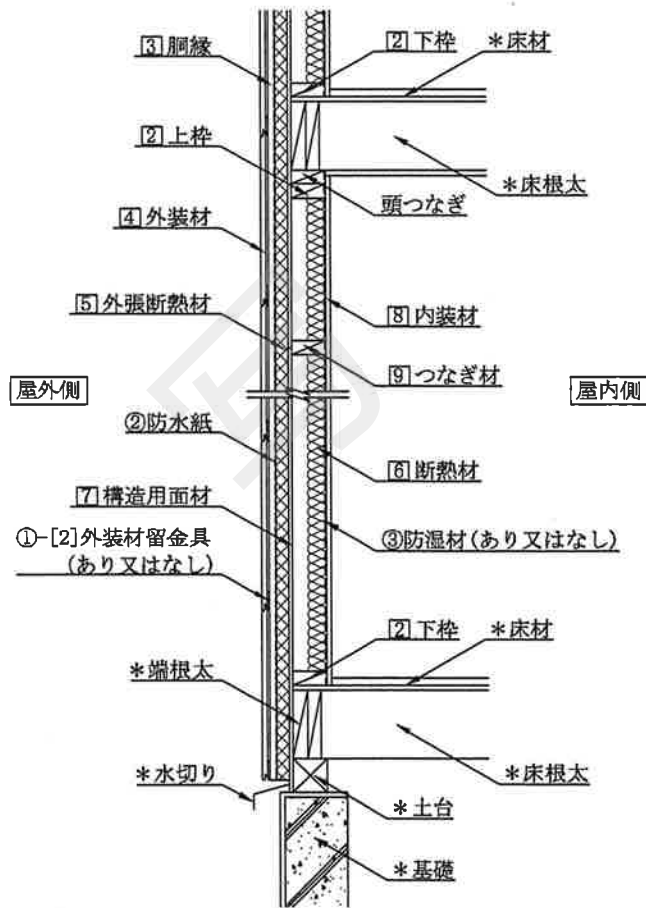
(別添-10)

(寸法単位：mm)

水平断面図



鉛直断面図

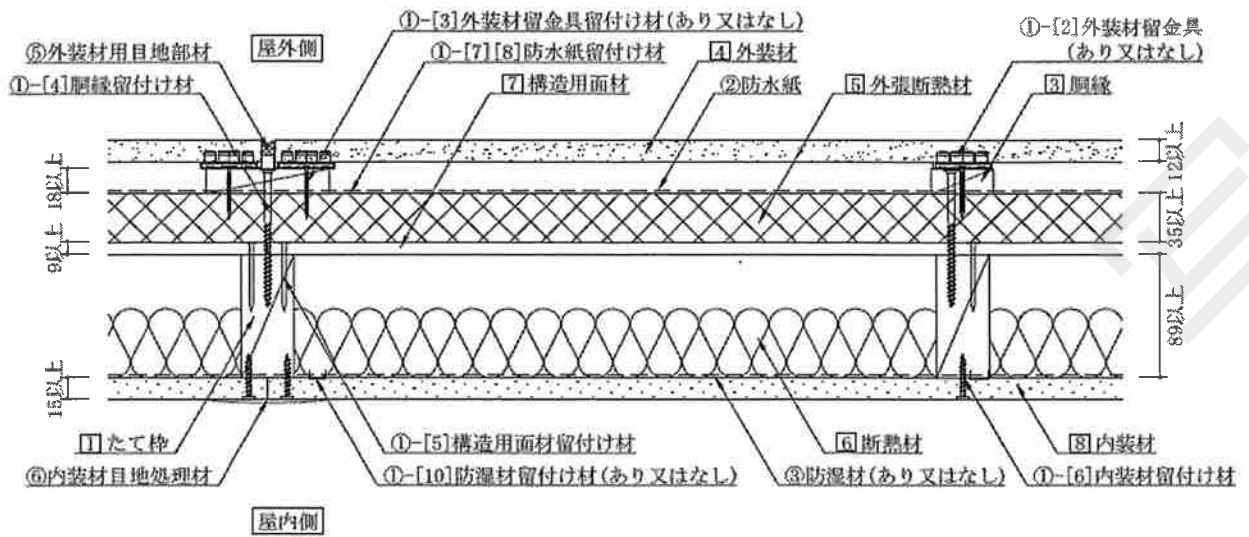


注) 寸法および材料構成は2および3のとおり

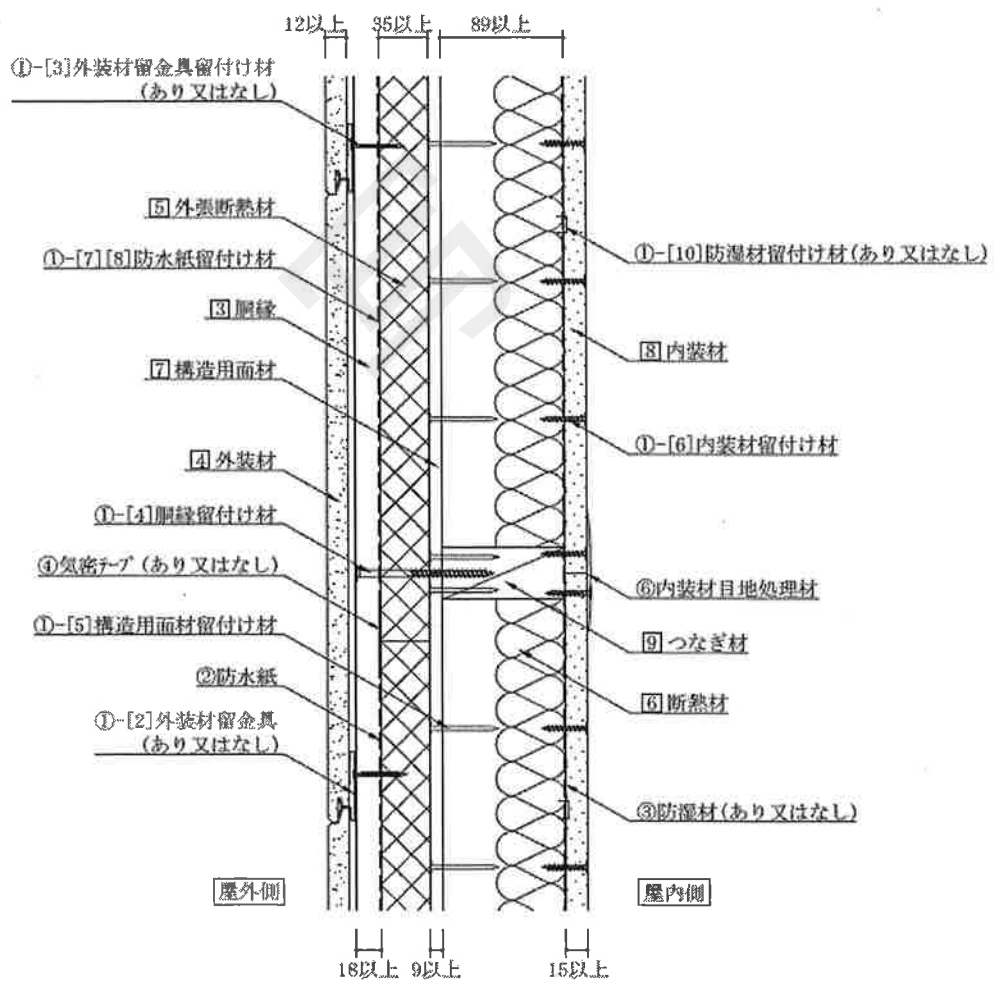
\* : 本評価内容に含まない

(寸法単位：mm)

### 水平断面詳細図



### 鉛直断面詳細図

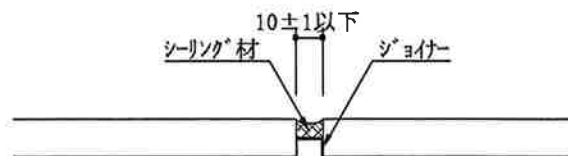


注) 寸法および材料構成は2および3のとおり

(別添-12)

外装材の目地処理方法

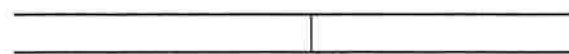
①シーリング材とジョイナーの併用目地



②合じゃくり・本突目地



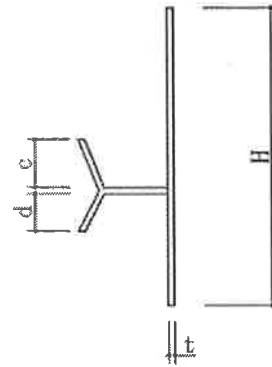
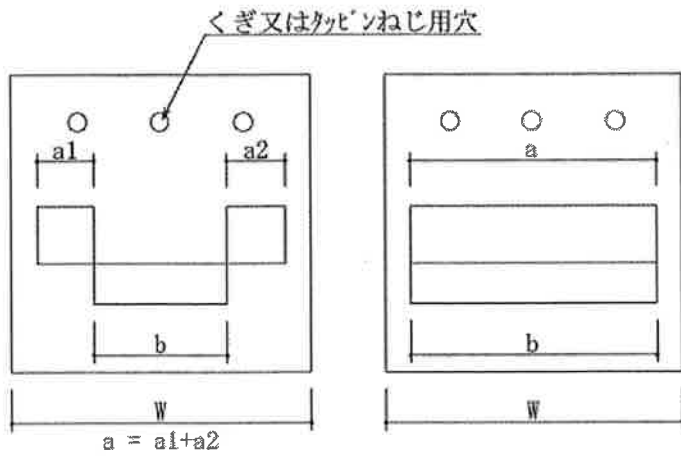
③突付け目地



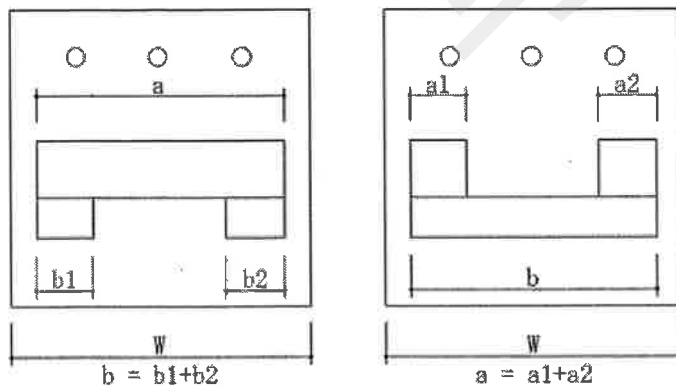
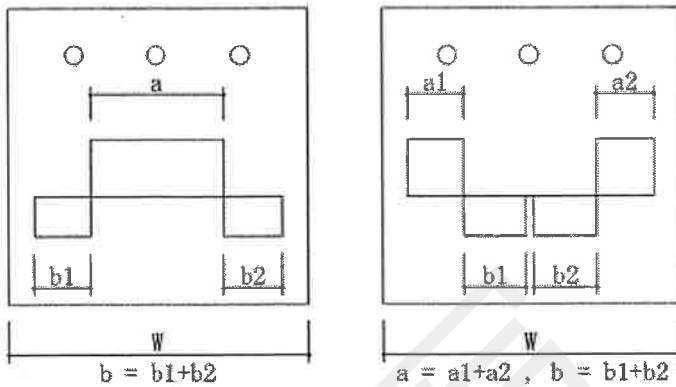
注) 寸法および材料構成は2および3のとおり

外装材留金具の形状

【外装材留付金具の概要図】



【側面図】



【正面図】

- w : 幅 40以上
- h : 高さ 40以上
- w + h : 上記の幅と高さの合計90以上
- t : 鋼板の厚さ 0.8以上
- a : 上部ツメの幅 15.8以上
- b : 下部ツメの幅 14.0以上
- c : 上部ツメの掛かり高さ 4.0以上
- d : 下部ツメの掛かり高さ 4.2以上
- 上部と下部のツメの総掛かり面積 175mm<sup>2</sup> 以上
- $[(a \times c) + (b \times d)]$

注) 寸法および材料構成は2および3のとおり

## 5. 施工方法等

### <施工図>

#### 4. 構造説明図と同じ

### <施工手順>

#### (1) 躯体構造の施工状態確認

- ・たて枠は、構造上支障のあるそり曲がりのないものを使用し、土台に垂直に 500mm 以下の間隔で取り付ける。

#### (2) 構造用面材を取付け

- ・構造用面材は、たて枠の上に構造用面材・内装面材用留付け材を用いて取付ける。

#### (3) 防水紙の張付け（防水紙を設ける場合）

- ・防水紙は横張とし、重ね代は縦 90mm 以上、横 90mm 以上とする。
- ・防水紙留付け材を用いて、できるだけたるみ、しわのないように留付ける。

#### (4) 外張断熱材の取付け

- ・フェノールフォーム保温板の四隅をN釘等で仮留めをおこない、隙間が出来ないように敷き詰めていく。

#### (5) 断熱材の取付け

- ・断熱材留付け材を用いて、隙間のないよう施工する。

#### (6) 防湿材の張付け（防湿材を設ける場合）

- ・防湿材は横張または縦張とし、上下・左右の重ね代を 100mm 以上とし、防湿材固定用留付け材を用いてたるみ、しわのないよう断熱材の上に取り付ける。

#### (7) 胴縁の取付け

- ・胴縁はフェノールフォーム保温板上の防水紙（防水紙を設ける場合）の上に胴縁用固定用留付け材を用いて取付ける。

#### (8) 外装材の取付け

- ・外装材は、目地にずれが生じないように、外装材留付け材又は、外装材留金具と外装材留金具留付け材を用いて取付ける。

#### (9) 内装材の取付け

- ・内装材は、内装材用留付け材を用いてたて枠、受材等に取付ける。
- ・目地部には、せっこう系パテを施す。